

暮らしやすい鈴蘭台のまちをめざして...

駅前まちづくり ニュース

発行：鈴蘭台駅前再開発検討部会



平成12年3月10日

6号

参加者も増え、勉強会を開催！

2月22日（火）午後7時30分より、勉強会を開催しました。

前回欠席だった方も多数参加され、改めて前回の検討内容を確認しました。

今回も、前回に引き続き、「ざつくばらんに考え、話し合ってみよう！」の趣旨で勉強会を行いました。

●第6回勉強会での意見等●

『いろいろなケースをみんなでざつくばらんに考え、話し合ってみよう！』の第2回としては...

●前回の検討（小さな段階整備）の問題点は...

- ・ 小さな駅前整備では、自家用車が増え、かえって駅前が混雑しそう。
- ・ 費用と時間をかけて整備するほどの魅力や効果が期待できない。
- ・ 大規模ビルは今の時代に合わないので、2、3階の小規模なものでよいと思うが、整備はもう少し広い範囲で考えなければ、魅力づくりにならない。
- ・ 最終の駅前まちづくりの姿が見えないと段階を踏んで進んでいけない。
- ・ 駅前の中心が長い間工事中になれば、周辺の店舗の客足にも影響がでるだろう。

例えば、大きな範囲で整備するとして

●考える会の構想案（交通広場+再開発ビル）について...

- ・ まずは、駅前東西のバス道からみなと銀行横の踏切までの範囲で考えてみる。
- ・ 駅前に交通広場・その北側に再開発ビルという考え方と、駅前に再開発ビル・その北側に交通広場という考え方を比べてみる。

●みなさんのご意見は...

- ・ 交通広場がどちらにあっても駅の利便は変わらないと思う。
- ・ 駅前に交通広場で空いていると、ガランとして寂しいイメージになる。
- ・ 駅前東西のバス道の南側のことを考えると、駅前に交通広場がある方が良い。
- ・ 駅前のビルだけで用が済んでしまうと周辺に人が流れなくなって、まちづくりにならない。
- ・ 交通広場も、駐車場も、再開発ビルも、駅の直近がいいので、立体的に重ねることを考えてはどうか。
- ・ まちの一部分を再開発しても魅力にはならないが、大きなビルを建てることも時代にあわなくなっている。

●次回は、広場とビルの関係から3つくらいの案を考えて、模型なども使いながら比較・検討してみましよう。

※次回は3月21日（火）午後7時30分より鈴蘭台自治会館2階で行いますので関心のある方はふるってご参加下さい。

連絡先：UR（株）都市・計画・設計研究所 TEL078-821-6716

（検討作業のお手伝いをしているまちづくりコンサルタント）